

# 日米地位協定の仕組み (公務外の事件)

日米地位協定について:

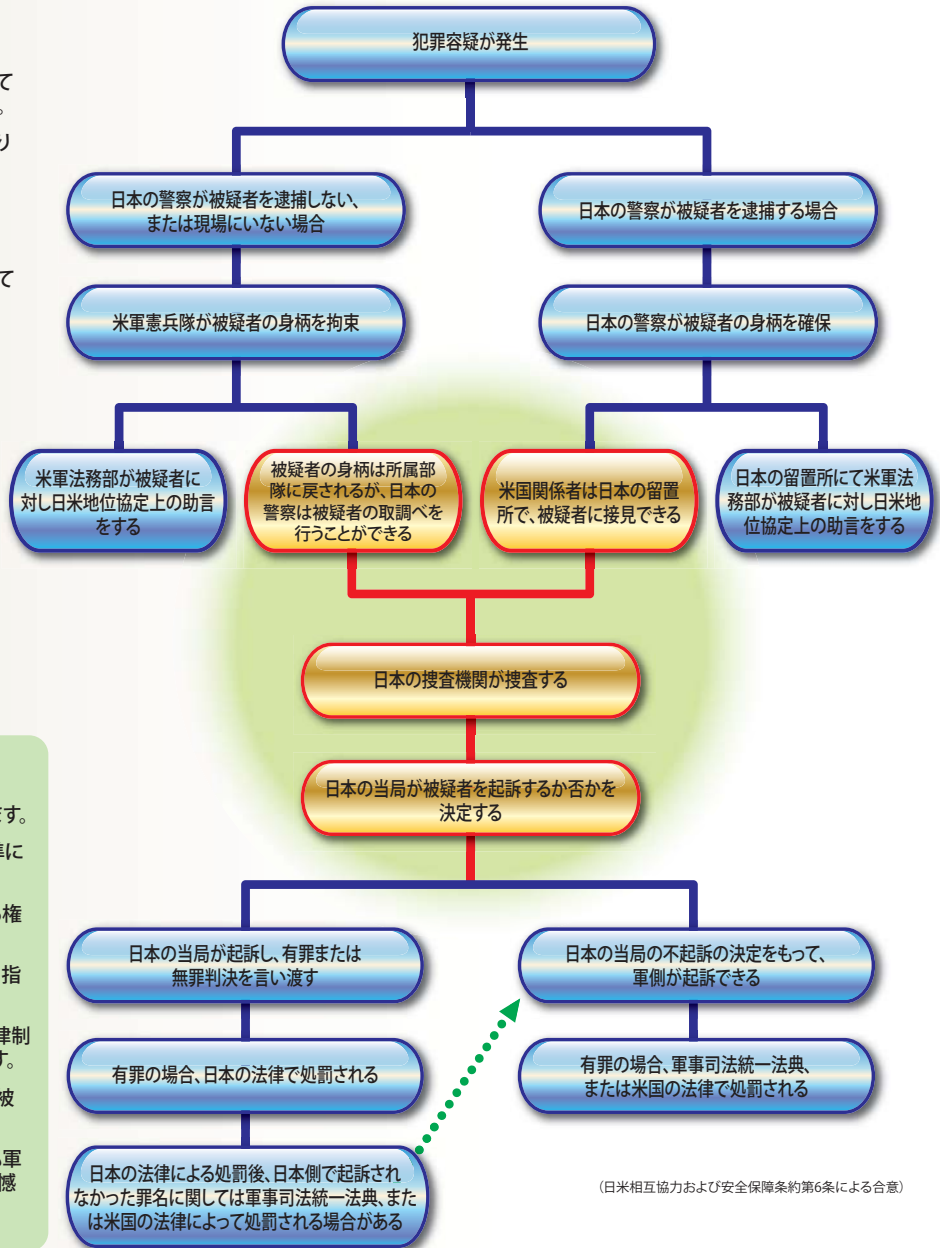
- 日米地位協定は、日米政府の合意に基づいています。
- 日米双方の当局には、被疑者の身柄がどちらに拘束されていてもその者に接見する権利が同等に保障されています。
- 事件が発生した際は、米軍と日本の弁護士が協力して取り組みます。
- 日米の法制度の違いはそれぞれ尊重されています。
- 犯罪の場所や内容に関わらず公平性は順守されます。
- 通常、米国による処罰は日本による処罰より厳しく科されています。



品位と名誉に対する責任を再確認する海兵隊員

軍事司法統一法典について:

- 米軍人は、入隊する際に一定の公民権を自主的に放棄します。
- 米軍人は、より厳しい規範の下で生活し高度な行動基準に従うことに同意しています。
- 米軍人は、入隊することで憲法上の適正手続きを受ける権利を失うことはありません。
- 軍事裁判制度は、指揮統括部隊が主導する制度であり、指揮官が不正行為の対処に関する最終決定者です。
- 秩序と規律を守るために、軍事司法統一法典では他の法律制度では処罰されない品行についても処罰対象になり得ます。
- 米国司法制度と同様に、軍事司法統一法典は被害者と被疑者・被告人の権利を擁護しています。
- 米軍人は秩序と規律の必要性を理解しており、一人でも軍隊の信頼を落とすような行為を行った場合、真っ先に遺憾に思い影響を受けるのは彼ら自身です。



(日米相互協力および安全保障条約第6条による合意)

## 最高刑比較図表

犯罪	日本刑事司法制度最高刑	米国司法制度最高刑	軍事司法統一法典
殺人	死刑、または終身刑	死刑、または終身刑	死刑、または終身刑
強姦	懲役20年	終身刑	死刑、または終身刑
誘拐	懲役10年	死刑、または終身刑	終身刑
傷害	懲役15年	懲役20年	懲役5年
不法侵入・住居侵入	懲役1年	懲役6ヶ月	懲役5年
窃盗	懲役10年	懲役10年	懲役10年
器物損壊	懲役3年	懲役10年	懲役10年
銃器不法所持	懲役5年	懲役5年	懲役1年
飲酒運転	懲役3年	懲役6ヶ月	懲役6ヶ月
大麻の所持・譲り受け渡し(営利目的)	懲役7年	懲役8年	懲役5年
姦通	なし	なし	懲役1年
任務放棄	なし	なし	終身刑
指令違反(外出禁止令)	なし	なし	懲役5年

(刑法、道路交通法、大麻取締法、銃刀法、麻薬および向精神薬取締法)

(米国法典)

(軍事司法統一法典)